**性感染症サーベイランスの運営と結果活用に関するアンケート**

平成27年度新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

「性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究」（主任研究者：荒川創一）

分担研究性感染症のサーベイランスの充実強化に関する研究　中瀨克己（岡山大学医療教育総合開発センター）

性感染症サーベイランスと、「性感染症に関する特定感染症予防指針」について、貴自治体の性感染症対策のご担当者による回答をお願い致します。

対象期間は、経年変化を問うもの以外は、平成26年１月から平成27年11月末までの期間です

◇サーベイランス情報の活用と啓発について◇

1. 主管部局として性感染症発生動向調査に基づいた情報提供を行った事がありますか

(1) ない　　（２）ある（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　（3）その他

1. 行った場合、情報提供は定期的ですか　　臨時ですか

(1)定期的　　　(2)臨時（　その内容；対象疾患等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 行った場合、感染症発生動向調査の特性を考慮していますか？　（定点の偏りや届け出率等。例えば、当研究班による全数調査との比較で定点医療機関からの報告は若年者で過小となっています。）

(1) 考慮していない　　　　　(2)考慮したコメントにしている　　(3)その他

4. 臨時の情報提供先について　あてはまるもの全てに○をつけて下さい　必要に応じ具体例も記載してください

　　　(1)医療機関（病院　診療所　医師会　その他具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　(2)教育機関(教育委員会、国公立学校、私立学校、その他具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

　　　(3)当事者支援団体を含む非営利・非政府組織(以下NGO)　具体的に（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　(4)福祉施設等具体的に　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）(5)その他　具体的に（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

5. 　近年の梅毒の増加を踏まえ、妊娠可能期の女性向けに梅毒の啓発を新たに行っていますか？

(1)行っていない　(2)以前から行っている（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（3）新たに行った　（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

6. 自治体独自に、把握疾患の種類を増やす、報告医療機関を増やす、臨時の詳細調査を行うなど多様な方法

　　　で動向を把握している例があります（三重県や東京都など）。貴自治体は性感染症の動向把握のための追加

　　　や変更がありますか

　　　（1）ない　　　　（2）ある（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

◇性感染症発生動向調査活用のためのガイドラインについて◇

7. 平成24年度の当研究班による「性感染症発生動向調査活用のためのガイドライン」をご存知ですか

　　　　　　　（地方衛生研究所協議会HP　https://www.chieiken.gr.jp/manual01/STI/sti-guide.html）

* 1. 知らない　　(2)知っているが未活用　　(3)知っていて活用（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

(4)その他

8. 参考になった記事を教えて下さい（いくつでも○）

　　　(1)担当者になったら　　（２）報告受理時にすること　　(3)還元情報について　　(4)疾患毎の特殊性

(5)地域でサーベイランス結果を活用するために　　　(6)付録　　(7)コラム　(8)その他(　　　　　　　　　　　　　)

9. ガイドラインに更に加えた方が良い内容があったら教えて下さい

　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

◇積極的疫学調査　について◇

　2011年以降、梅毒の報告が増加しており、先天性梅毒の報告数もやはり増加傾向です。

10. 　梅毒報告に関して、追加情報を得るために医療機関に問い合わせた事がありますか

(1) 検討／実施ともにない (2)検討したが実施はない　(3)　ある

11.　その対象／内容は以下のどれに当たりますか、該当するもの全てに○を記入して下さい。

(1)先天梅毒　(2)妊婦 (3)小児　(4)その他の希少／対応の検討が必要と思われた例

(5)報告例の増加に関連して　(6)その他の理由（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

12. 総調査例数は何件ですか (1)１件　(2)2−5件　(3)6−9件　(4)10件以上

13. 上記の医療機関への問い合わせは、感染症法１５条による積極的疫学調査と見なしていますか？

(1)全て見なしている　　(2)一部見なしている　　(3)全てみなしていない　　(4)判断していない

14.　梅毒以外の性感染症(HIV,B/A型肝炎,赤痢等)について医療機関へ問い合わせを行った事がありますか？

(1) 検討／実施ともにない　(2)検討したが実施はない　(3) ある(疾患名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

15. 性感染症の追加調査が行われるために有効と思われる取り組みの１位に◎を、他に○をつけて下さい。

(1)５類侵襲性感染症のような国からの通知　(2)担当職員の研修機会　(3)研究班等による対象／内容に関するガイドライン　 (4)調査の様式や説明文書の案\* (5) 医療機関を対象とした疫学調査に関する説明、研修機会 (6)その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＊例えば、豊島区では梅毒事例にFaxにより追加情報を求めています。

◇集団発生　・アウトブレイク　と　関連調査　について◇

HIV感染症、梅毒、肝炎などの集団発生を把握・対応したと、当班の過去の調査へのご回答や、IASRでのご報告があります。

16. 貴自治体では梅毒報告の増加について検討されましたか

(1)増加していない　(2)増加の有無を検討予定　　(3)増加している

17. 性行為による感染症（梅毒、A/B型肝炎、アメーバー赤痢やHIV感染症等）の集団発生や通常以上の増加（アウトブレイク）及びその疑いを平成26年１月から平成27年11月末までの間把握したことがありますか。

(1) 把握していない　(2)不明 (3)　把握した（その疾患　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

18. その際、何らかの対応を行いましたか？（いくつでも○を）

(1) 行わなかった　 (2) 調査（感染経路等） (3) 分析　 (4) 啓発や情報提供　(5) 前項以外の介入策

(2)-(5)の内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）

◇パートナー対応　について◇

性感染症に関する特定感染症予防指針(以降指針)には保健所等検査陽性者の相手方へ「必要な場合医療に結びつけ」に加え「陽性者を通じる等により情報提供等の支援を行**う」ことが追加されています。**

19. 保健所・特設検査での性感染症（STD）/HIV検査で陽性となった受検者に、パートナーへの情報提供を依頼していますか

(1) STD陽性者　①全員に勧奨　　②一部に勧奨　③勧奨していない　　④不明

(2) HIV陽性者　①全員に勧奨　　②一部に勧奨　③勧奨していない　　④不明

20. パートナーへの受検勧奨を依頼していますか

(1) STD陽性者　①全員に勧奨　　②一部に勧奨　③勧奨していない　　④不明

(2) HIV陽性者　①全員に勧奨　　②一部に勧奨　③勧奨していない　　④不明

21. 勧奨の際に資料を用いていますか

(1) はい（①STD　②HIV　③両方） (2)いいえ

22. 勧奨の手順や要領を定めていますか

(1) はい（①STD　②HIV　③両方）　 (2)いいえ

23. 勧奨の結果、パートナーの感染が分かった例がありましたか

(1)把握していない　 (2)感染例があった　　　(3)知る限りではなかった

　把握例数：HIV感染症　　件、他の性感染症　　件　（平成26年１月から平成27年11月末まで）

◇性器ヘルペスについて◇

24. 性器ヘルペス感染症の届出対象は、初感染のみを趣旨としていますが、現在では再発が多いと思われる高齢者の届出も多く、性器ヘルペス感染の動向が正しく把握されていない恐れがあります。

　　　性器ヘルペスの動向把握の継続についてどのようにお考えですか

(1) 性器ヘルペスの把握そのものを再検討する　(2)運用の改善は必要だが把握は継続する

(3) 現状を変更する必要は感じない　 (4)特に明確な意見はない

25. 性器ヘルペスの動向を貴自治体における対策に活かした経験がありますか

　　　　(1)ない　(2)ある　（具体的には　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

◇定点医療機関について◇

指針には、都道府県は「地域における対策に活用するため、中略　届け出医療機関を指定する」とされています。また「口腔等を介した感染」が追加されています。

26. 定点医療機関は、どのように設定していますか

　　(1)医師会に案を依頼する　　　(2)行政が選定する　　　　(3)医師会と行政で調整する

　　(4)その他　（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

27. 貴自治体では口腔を介した性感染症の動向把握の必要性を感じますか

　　(1) 区分して把握する必要性は感じない　 (2) 感じる　(3)判断できない

28.　口腔を介した咽頭の性感染症の把握のために、性感染症定点医療機関に耳鼻科を追加することについて

(1)賛成　　(2)どちらかと言えば賛成　 （3）反対　　(4)どちらかといえば反対　(5)判断できない

29.　貴自治体で耳鼻科定点を指定するとしたら可能ですか

　　(1)比較的容易　　（2）可能　　　（3）困難（主な理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　(4)不明

30.　病原体定点に性感染症を診断する医療機関を追加する必要性を感じますか

(1)感じる　(2)新たに指定する必要性は感じない　(3)判断できない

◇性感染症の検査について◇

31. 保健所・特設検査等での性感染症検査において口腔での感染について検査していますか

(1)検査していない　　　(2)検査していないが実施施設を紹介している　(3) 検査している

(4)その他（具体的に　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

32. 性感染症検査は直営ですか（市、特別区が都道府県の衛研に委託する事も含む）、　委託ですか

　　(1)直営　　　(2)部分的に委託　　　(3)全数委託

33.　　HIV以外の性感染症検査について、結果を聞きに来ないこと等による未返却の割合はどれくらいですか

　　(1)ほぼ0％　　　(2)１割未満　　(3)2～３割　　　(4)３割以上

34.医療機関に性感染症の検査実施を委託していますか？

(1)委託していない　　　(2)HIVを委託　(3)HIV以外の性感染症を委託 (4)HIV及び他の性感染症を委託

　　　委託対象疾患（　　　　　　　　　　）

◇ご回答者と、所属について◇

35．　自治体名（　　　　　　　　　　 　　）①都道府県　　②政令市　　③保健所設置市　　④特別区

36. 　職種①薬剤師　②獣医師　③検査技師　④事務　⑤保健師　⑥看護師　⑦医師　⑧その他（　　　　　　　）

37.　　27年度末での性感染症担当年数　①2年未満　　②2-4年　　③5-9年　　④10年以上

38.　 回答者の氏名と連絡先（出来ればEメール　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　回答期限　　　平成27年12月16 日（水）

　　　　　　　　　　　　　　　　回答方法　　　Eメールによるワード形式

　　　　　　　　　　　　　　　　回答先　　　　事務担当委託者　[sti.surveillance.strategy@gmail.com](mailto:sti.surveillance.strategy@gmail.com)

（インターネット環境に無い場合　　FAX　086-251-8926

当研究の過去の成果や性感染症発生動向調査活用ガイドラインは、下記のサイトの専門家向けレポートからもご覧頂けます。参考にして頂ければ幸いです。

<http://std-shc.net/report_senmon/index.htmlhttp://std-shc.net/report_senmon/index.html>